

"ChatGPT" Project team for considering utilization.

ChatGPT等生成AI活用検討プロジェクトチーム

第3回会議

I exaBase生成AI試行中の感想

II ガイドライン案・活用プロンプト集について意見交換

III 情報共有・今後の進め方等

2023年8月29日 兵庫県

I exaBase生成AI試行中の感想



Ⅱ ガイドライン案・活用プロンプト集について意見交換

(1) アンケート結果（ガイドライン案の感想）

ガイドライン案の感想

十分だと思う(19)

[そう思う(7), やや思う(12)]

- ・現状考えうる事項は全て記載されていると感じた
- ・理解しやすい。全体記載内容で十分留意事項は伝わると感じる
- ・多くの守備範囲が記載されている

どちらでもない(3)

- ・留意すべき事項に関する記述が長く、活用が進まない恐れがある
- ・利用方法を分析して、リスクがある利用方法についての記載追記していく仕組みになればいい

十分だと思わない(0)

[あまり思わない(0), 思わない(0)]

(2) アンケート結果（ガイドライン案への意見）

ガイドライン案への意見①

全体

<概要版がほしい>

- ・ポイントをさらに絞った1~2枚の概要版があった方がよいかも。

<生成AIのメリットも合わせて伝えることが大事>

- ・留意すべき事項に関する記述が長く、読んだ職員の多くが「面倒くさそう」という意識になり、結果として活用が進まない恐れがある。メリットをはじめに強調した上で、注意点を説明する構成にしてはどうか。あるいは、別途視覚的に訴求する資料を作成し、その中で生成AIのメリットや利用法を注意点とあわせて記載するのも一案と思われる。

(2) アンケート結果 (ガイドライン案への意見)

ガイドライン案への意見②

5 データの入力に際して留意すべき事項 (p.3~5)

<所属長の許可制について>

- ・ 所属長が利用許可する場合の許可基準のようなものが必要では。
- ・ どんな業務で使用した場合でも利用許可簿の記録が必要になるのか。
- ・ 利用登録時に電話番号も求められる場合の対応は言及しないのか。

<目的外利用への対応>

- ・ ガイドライン上は許可制で担保しているが、業務目的外利用を管理側で効率的に掌握する術がないので少し注意が必要。生成AIの利用を許可した場合、その中での利用は制限できない。生成AIは現在制限しているブラウジングに近い結果を得ることができ、将来さらに多機能・多リスクとなる可能性がある。

(2) アンケート結果（ガイドライン案への意見）

ガイドライン案への意見③

3 生成AIを利用する際の基本事項（p.2～3）

<有償サービスの提供>

- ・ デジタル改革課が提供する有償サービスは何か記載した方が分かりやすい。

<基本的な留意事項>

- ・ p.5の記述と合わせて「複数の職員で…」と記載してはどうか。

5 データの入力に際して留意すべき事項（p.3～5）

<情報公開条例第6条に定める非公開情報>

- ・ 非公開情報の「第1号」の要旨が記載されているが、具体的にイメージできないので、参考情報として具体例を記載してほしい。

(2) アンケート結果（ガイドライン案への意見）

ガイドライン案への意見④

5 データの入力に際して留意すべき事項（p.3~5）

＜職務上知り得た秘密の取扱いなど＞

- ・ 職務上知り得た秘密の「秘密」の基準をざっくりでよいので明確にすべき。
- ・ 「入力不可の情報」と「入力に注意を要する情報」の差が少し曖昧。「職務上知り得た情報」を「入力する行為が第三者に秘密を漏洩する行為となり、地方公務員法違反に当たる可能性がある」のなら、個人情報と同じく入力禁止とすべきでは。
- ・ 「入力に注意を要する情報」の①③④には注意すべきことが記載されているが、②は著作権に原則該当しない旨が記載されているだけ。注意すべき点も記載した方がよい。

(2) アンケート結果（ガイドライン案への意見）

ガイドライン案への意見⑤

6 生成物の利用に際して留意すべき事項（p.5～6）

- ・著作権侵害、商標権侵害の項に「事前に調査すること」と記載されているが、調査を実施することは現実的には極めて困難。

7 生成AIの効果的な使用方法（p.6～7）

- ・プロンプトそのものの説明があった方が、より理解が深まると考える。

その他

<細かなアップデートが必要>

- ・細かくともアップデートを素早く行う必要がある。
- ・利用方法を分析し、高リスクの利用に関する記載を足していく仕組みが必要。

(2) アンケート結果（ガイドライン案への意見）

ガイドライン案への意見⑥

その他

＜職員への研修と周知が重要＞

・ガイドラインなので、リスクの記載が多くなるのは仕方ないが、職員に生成AIを使用して業務効率化を図ってもらえるよう、メリットや使い方の側面を発信していく必要がある。今後、研修や、デジタル改革課の「デジCanマガジン」で、正しい使い方や有用な使用法を発信していったほしい。

＜開発者の視点も今後必要に＞

・情報セキュリティ対策指針は「利用」も「開発」も包含している。県が生成AIをエンジンとしたシステム調達を行うこともあるかと思うので、今後は利用者の視点に加えて、開発者の視点でも検討していく必要がある。

(3) アンケート結果 (プロンプト集の感想)

プロンプト集の感想

役立つと思う(18)

[そう思う(10), やや思う(8)]

- ・ 日常業務の中では特に、エクセルのヘルプが役立つと思った
- ・ 具体的でいいと思う
- ・ 役割の持たせ方は非常に参考になる
- ・ 初心者でも活用しやすい
- ・ ポイントと例が記載されておりアレンジしやすい
- ・ 「こっそり使うモノ」に止まってしまうのは、もったいない

どちらでもない(3)

- ・ プロンプトのコツの解説が必要
- ・ 初心者のさらなる活用、引き上げができるようにすべき

役立つと思わない(1)

[あまり思わない(1), 思わない(0)]

- ・ 使い込みが足りていない

(4) アンケート結果 (プロンプト集への意見)

プロンプト集への意見①

全体① (普及)

<全庁共有の仕組みづくり>

- ・ 職員による実践事例やプロンプトを庁内で共有する仕組みがあれば、より活用が進むかもしれない。
- ・ 今後多くの職員が利用できるようになれば、誰でも発信、閲覧が可能な仕組みが必要かと思えます。

<適宜更新>

- ・ 業務全般に関する内容については、利用者（有償サービス登録者）から意見を募り、随時更新していく必要がある。
- ・ ガイドライン改訂後も適宜更新できればなおよいのではないのでしょうか。

(4) アンケート結果 (プロンプト集への意見)

プロンプト集への意見②

全体② (活用)

- ・ 公式の意味を知ってから、何度か利用してもらう方が適切なプロンプトが書ける習熟につながるのでは。
- ・ #が使えるのは、GPT系の言語に基づく文章生成AIだけではないか。
- ・ 一般的な使い方（そもそもプロンプトって何？ #って何するの？）は別途用語集的なものがあったら良い。
- ・ 応用的な使い方（質問を重ねるときのコツ）や、実際にプロンプトを利用して仕事を進めた際の、一連の流れがわかる資料が欲しい。

(5) アンケート結果 (その他)

全般的な意見

<上司の理解度向上>

- ・ 上席もChatGPT機能の理解は必要だと感じるため、上席向けの研修を行う等理解を広げることが、若手職員の利用に繋がると考える。
- ・ 担当者がChatGPTを活用して作成した成果物に対して、ChatGPTへの知見が高くない上司だったとしても、上司自身がチェックして品質を担保するプロセスが必要。

<新しい働き方との連携>

- ・ 「新しい働き方」の実践事例を共有するためのTeamsパブリックチームを公開し、周知する予定。その中で生成AIの実践事例について情報交換したい。

Ⅲ 情報共有・今後の進め方等



PTのスケジュール

時期	項目	概要
6月	第2回PT (6/2)	<ul style="list-style-type: none">・活用中の感想・今後の進め方を共有
	研修会 (6/5)	<ul style="list-style-type: none">・大植氏による研修・プロンプト実習
7月	村尾先生with神大生アイデアソン (7/13)	<ul style="list-style-type: none">・生成AIの面白い活かし方・これまでにない課題解決のアイデア
8月	第3回PT (8/29)	<ul style="list-style-type: none">・ガイドライン案に関する議論・有効なプロンプトの共有 等
9月	第4回PT (下旬)	<ul style="list-style-type: none">・ガイドライン第1.0版の説明、意見交換

業務活用